

3年目のMY-CAST:参加型授業とゼミへの展開

The Third Year of MY-CAST: the way for active-learning and seminar

石橋賢一

Kenichi Ishibashi

病態生理研究室

E-Mail:kishiba@my-pharm.ac.jp

1. はじめに

2014年にサイバーキャンパスがMY-CASTに変わった。これはMoodleをベースにしており、講義、卒業研究、実習のサイトとしても気軽に利用できるようになった。今年でもう3年目にはいり、使い方が徐々にわかってくると、様々な使用法が工夫次第で可能であることがわかってきた。まだまだ使いこなせているとは言い難いが、利用価値の大きい授業設計をして、教育効果をあげるのが目的であるが、残念ながら国家試験対策学外授業がMY-CASTでもっともよく利用されているのが現状である。MY-CASTに振り回されてはいけないが、近寄らないのも懸命とはいえない(と思う)。

ここでは個人的な現在の活用事例を紹介しながら、改善点も含めて将来への新たな活用法についても考察してみたい。まだMY-CASTを活用していない教員が多いと思われるので、少しでも使ってみようというインセンティブになれば幸いである。

2. 個人的なMY-CAST活用事例

講義のページは科目・クラスごとに情報課のほうで用意されている。すでに登録学生も入力されており、必要に応じて留年生や卒業研究生を手入力することも可能である。入力されているメンバーにしか講義のページが閲覧できないのは、個人情報を含めて情報管理ができるので安心である。そこには講義のスケジュール、講義内容、学習目標などを記入するが、いつでもアップデート(変更)できるので便利である。メール機能によって全員に、あるいは特定のメ

ンバーに一斉に連絡できる(Home>ダッシュボード>メッセージでメールの履歴が確認できる:ニュースフォーラムを使えば掲示もできる)。講義資料や講義録音、録画もドラッグするだけでアップできる(資料や講義内容の訂正も併記できる)。複数のクラスを教えている場合には、同じ講義資料で類似した講義になるので、学生が別のクラスの授業を録画でみられるように、講義ページをクラス間で丸ごと、あるいは必要な項目だけをコピーできる。ページにいつだれがアクセスしたかもわかるだけでなく(アクセスのない学生には警告メールを出せる)、ビデオごとの視聴時間帯・使用メディア・視聴数を確認することができる(ビデオのどの部分にアクセスが多かったかなどもわかる)。これはいわば教育でのビッグデータであり、分析することで教育効果の検証に活用できる(可能性はある)。

講義の録画をcBOXで自動録画できる部屋はフロネシスや101, 104である。あらかじめ情報課に時間と講義室を連絡しておくタイマー機能で自動的に撮影録画される。黒板の文字も鮮明に見え、画像が重くてもストリーミングですぐ見えるし、早送り再生も可能である。それ以外の部屋では情報課に撮影をお願いするか、各教室のパソコンに入っているeducampusでスライドショーとして録画できる(あとでストリーミング方式でもアップ可能)。

卒業研究のページも4年と6年が別々に情報課によって用意されている。もしこれとは別に独自にクロードのゼミを立ち上げる場合には、情報課でいくつでも新しいページを作成してもらえ。学年を超え

たメンバーも手入力できるので、メンバーも各自でアップデートできる。課題、ゼミ記録、当番表の掲示、課題提出、論文添削などが可能である。次の年度にページごとにコピーできるので、後輩に引き継ぐのも容易になる(メンバー全員を手入力しても閲覧できるようにもなるが)。

5年の臨床実習のページを作成してもらい、担当学生をメンバーにして、週報をアップしてもらった。お互いの実習内容や進行速度などについて学生間で共有できるようになるし、さらに同じ実習病院であれば、年度をまたいで学生間で情報が共有できるようになる。発表会の資料も、下の学年が準備するときに参考になる(はずである)。

(大学院)病態生理学特論のページを作成してもらい、eラーニング教材(講義ビデオをコピー)をアップして、レポートとして提出してもらい評価して各自で確認してもらった。また事前に予習してきてほしい資料をアップしておけば、当日配布するのでは間に合わない論文も共有することが可能であった。

1年の早期体験実習のページも作成してもらった。事前・事後レポートを提出してもらったり、訪問先のwebページや情報サイトのリンクをはることで、事前に情報を共有することができた。

1年生のフレッシュマンアドバイザーのページも作成してもらった。スケジュール、過去問題集などの資料をアップして、学習の便宜を図った(サークルの先輩から入手できない学生が結構いる)。留年生アドバイザーも一緒に登録しておいて同じ目的に使用できた。

カレンダー機能は提出物の締め切り日が表示されるだけでなく、Googleカレンダーとリンクさせると自動的に入力されているので便利になる。

3. MY-CASTの改善点と将来展望

以上のようにいろいろ便利なMY-CASTであるが、まだまだ活用できていない機能がたくさんある。ここではその一部を紹介しつつ、可能な方法について取り上げてみたい。

写真やイラストを多用して見やすい画面にするこ

とでアクセスが増えることが期待される(facebookがまさにそうである)。MY-CASTではそれぞれのページに写真をアップできる。それには「リソース」にある「ラベル」に写真をドラッグすることで、アクセスするといつも写真が見える状態になる。例えば卒業研究のページをクローズドの研究室のホームページとして活用できるようになる。カレンダー機能をメンバーで共有できれば、お互いの都合がすぐわかるようになると思われる。

カレンダー機能はグーグルカレンダーとリンクさせているが、大学の予定表をあらかじめ取り込ませておくことができれば(できれば色で識別)、いちいち入力しなくても不必要なのは削除するだけで良いので、カレンダー管理が便利になるであろう。

提出物は「活動」の「課題」に提出すると教員しかみられないが、学生間で見られるようにするには「ワークショップ」に提出するようにするとよい(はずである)。参加者全員で共有することで横の連携が可能になると思われる。

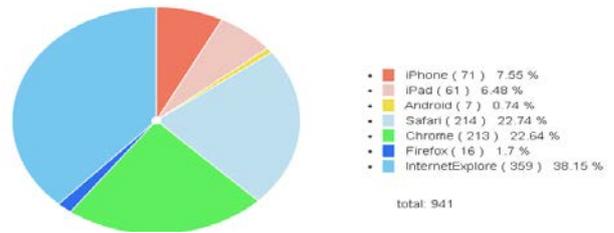
クラス間で教材を共有するには「コース管理」の「インポート」で特定の教材を取り込むことで可能になる。さらに年度をまたがって教材を利用できるようにするには、「コース管理」の「バックアップ」でページ全体を違う年度にペーストすることで可能になる。

クローズドの掲示板やブログとしてもMY-CASTを活用できる。ニュースフォーラムの機能を使えば、掲示(資料も添付できる)だけでなく、メンバーにその内容をメールすることも可能である。メールのやりとりの履歴がメンバーで共有できる(はずである)。ただ本来は教員の授業サポートシステムとしてMY-CASTは運営されており(拡張は可能のようだが)、学生の書き込みや運用は想定されていないので難しいかもしれない。ただ、授業アンケートをリアルタイムでおこなったり、授業中の投票のようなリッケー機能として利用できる可能性はある。

SNSの一部としてMY-CASTが機能するようになれば、今とは違うコンセプトで作り直必要があるかもしれない。もちろん授業内容や定期試験に特化した現行のニュースフォーラムは教員と学生の間の距離

を縮める(はずである)。ニュースフォーラムは教員
間や事務も含んだ形で利用できるので学内委員会
のみならず、教員会議や教授会のメール会議として
活用できるであろう。もっともメモリーの負荷を考えるとSNSについてはMY-CASTの外でやっていただく
のが適切かもしれない。

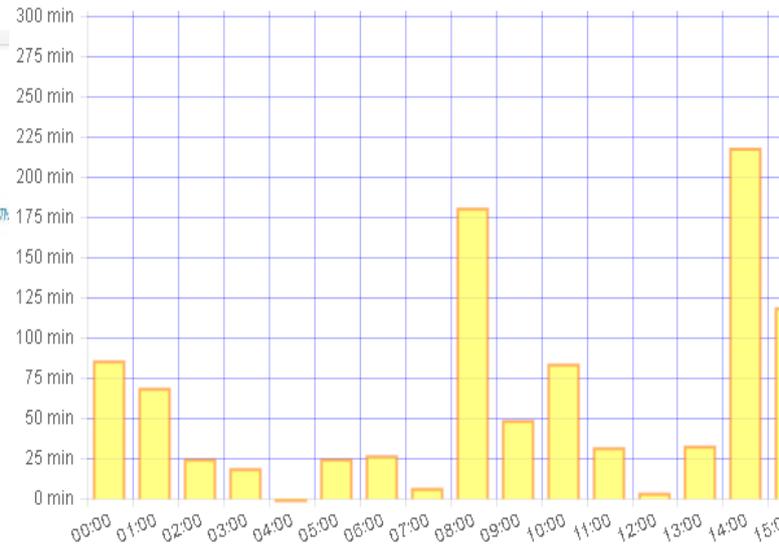
最後に文章だけでわかりにくかったと思われるの
で、図をあげておきたい。ご参考になれば幸いである。



アクセスのためにどのブラウザを使用
しているかがわかる (IEが多い)。



4年の卒業研究のページはwebサイトの
ホームページのように使用できる。



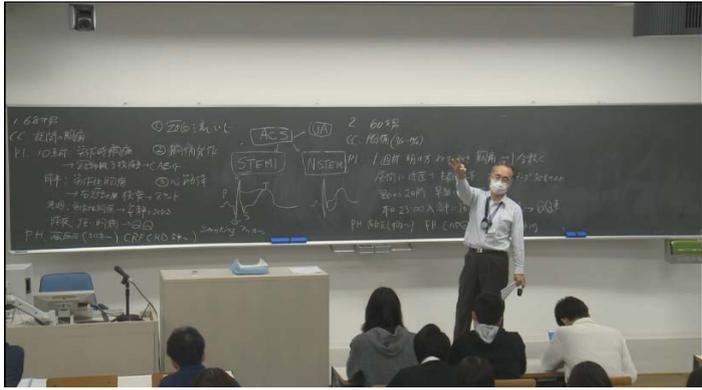
ビデオへのアクセス時間と時間帯のグラフ：
登校時間の利用が多い



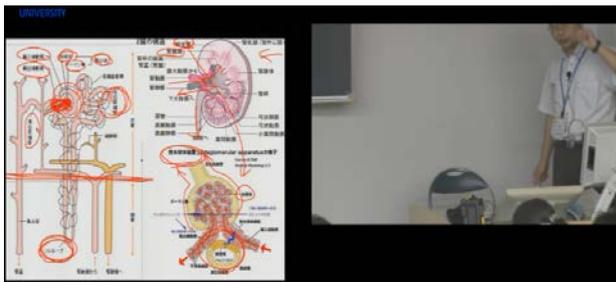
6年の卒業研究は別ページで運用した



ビデオ内でのどの時間帯のコンテンツに
アクセスが多いかがわかる



黒板の文字も明確に読み取れる。ストーリーミング再生なので速やかに見ることができ、またダウンロードできないので流出する心配がない（症例解析演習 I：フロネシス小教室の cbox で録画：パスワードは 1234）



スライドは別に録画できるので図も明瞭である（赤マーカーで書き込めるのは educampus を使用しているから）。演者のビデオ（座位にセット？）とパワーポイントの大きさは自由に変えられる（薬物治療学 I：101 または 104 教室の cbox で録画：情報課に授業日時を予約しておく）と自動録画されるので cbox の操作は必要ない。